

## 令和2年度 第2回中津川市総合計画推進委員会での主な意見

令和2年8月7日(金)14:30~16:30

中津川市役所 4階 大会議室

### 「児童福祉総務事業」

#### ○児童虐待について

- ・早期発見する観点では、虐待が疑われる際に児童相談所や警察に速やかに連絡できることが重要である。自治会、例えば区長会や民生委員などと連携する形もあるのではないかな。
- ・通報を受けて訪問した際は問題なしと判断した件が、その後事件となる事案も発生しているため、そういったところも注視して取り組んでほしい。

#### ○ひとり親家庭の職業訓練支援について

- ・前年度実績が2件の中、目標値が5件となっているが、目標値を「前年度の実績以上」と設定する考え方もある。目標値が高すぎるのではないかな。
- ・資格取得による就職先の情報や利用できる子育て支援策など、活用できる様々な支援をパッケージ化した情報発信が必要ではないかな。
- ・市以外にも制度があるのであれば、関係団体などと連携し、役割分担を明確にするなど事業を整理することで、効果・効率的に事業を推進できるのではないかな。
- ・金銭的な支援だけでなく、子どもの一時預かりなどのケアや効率的に働ける場の提供など、様々な面からの支援があれば、制度を活用しやすくなるのではないかな。
- ・実態に応じて事業内容を切り替えていくなど、視点を大きく変えることも必要ではないかな。

### 「生活困窮者自立支援事業」

○目標値の設定は過去の実績や最近のトレンドなどを踏まえて設定するものだが、そういう観点では設定が高すぎると思う。最終年度である令和4年度に30人/年になるよう、各年度で段階的に目標値が増加する形が良いのではないかな。

○引きこもりの問題は、大きく重い課題のため、手間がかかり専門性が必要になってくると思うが、それらに対する対応を考えるべきである。また、成人になってからの問題だけではなく、子どもが育つ時点の対応という課題もあり、教育委員会との連携が必要ではないかな。

○引きこもりの方について、WEBを活用したオンライン面談は、対面相談よりも効果的との事例もあり、新型コロナウイルス感染症対策にもつながるため検討していく必要があるのではないかな。

### 「文化団体育成事業」

○観光推進アクションプランの目標と連動しているとの話だが、前年度実績や新型コロナウイルス感染症の影響などを踏まえると、目標値が高すぎるため、見直しをすべきではないかな。

- 観光客を増加させる観点だけでなく、実際に地歌舞伎等の保存に関わっている人たちの思いを踏まえた目標値の設定が必要ではないか。観光振興として進める場合も、保存会をどのように支援するのかを踏まえて、事業を進める必要があるのではないか。
- 文化団体育成事業の目的からすると、観光の目標値があっても良いが、その事業自体の目標値ではないのではないか。自分たちの事業として、どういった成果を出したいかということに結びついた目標値の設定が必要ではないか。

### 「地域木材需要拡大事業」

- モデルハウスでの1泊宿泊体験など、家の機能性や良さなどを直に知ってもらったりキッチンを使った料理教室など、体験イベントによるPRをしてみてもどうか。
- 天然素材がシックハウスやアレルギー対策といった子育てにも最適で、健康・安全につながるなど、東濃桧の良さをもっとPRすべきではないか。
- 施主としては大黒柱の贈呈よりも、補助金をもらうなどの直接補助や、大黒柱に限定されない自由度の高い支援を求めていると思われるので、消費者のニーズに合わせて検討していく必要があるのではないか。
- 大黒柱の贈呈について、補助される金額を実感できると印象が違ってくるのではないか。また、産直住宅を建てられた人の生の声を発信してみてもどうか。
- 市内で年間何件の住宅が建ち、その中で産直住宅による市の事業を活用した割合はどの程度かに基づいて組み立てるべきではないか。
- 目標値が前年度対比で算出されているが、全体のうち何%など、分母に対してどうなのかという視点で考えていく必要があるのではないか。
- 金融機関における住宅ローン相談などの際に市の制度を紹介するなど、金融機関と連携したPRを検討してみてもどうか。
- 家の建築を予定していない方にも補助金を知ってもらい、住宅の建築を検討する際に思い出してもらえそうなPRが必要ではないか。